

3. 今回の発掘調査の結果

〔見つかった遺構（生活のあと）〕

- 遺跡のもっとも盛んなころは平安時代（約 1,000 年前）
 - ・ 古墳時代（約 1,700 年前）の人の活動のあと（溝や穴）
 - ・ 平安時代（約 1,000 年前）の集落の一部
ほったてばしらたてもの
（掘立柱建物）
- ・ 鎌倉時代（約 800 年前）の集落の一部（溝や大きな穴）
- ・ 水害のあと
- ・ 室町時代（約 700 年前）以降の集落の一部（掘立柱建物）



調査風景（A地区）

〔掘り出された遺物（生活の道具）〕

- もっとも多いのは平安時代と鎌倉時代の土器
 - ・ 縄文土器（約 7,000 年前！）
 - ・ 古墳時代（約 1,700 年前）の土器
 - ・ 平安時代（約 1,000 年前）の土器
 - ・ 鎌倉時代（約 800 年前）の土器
 - ・ 室町時代（約 700 年前）の土器



鎌倉時代の土器

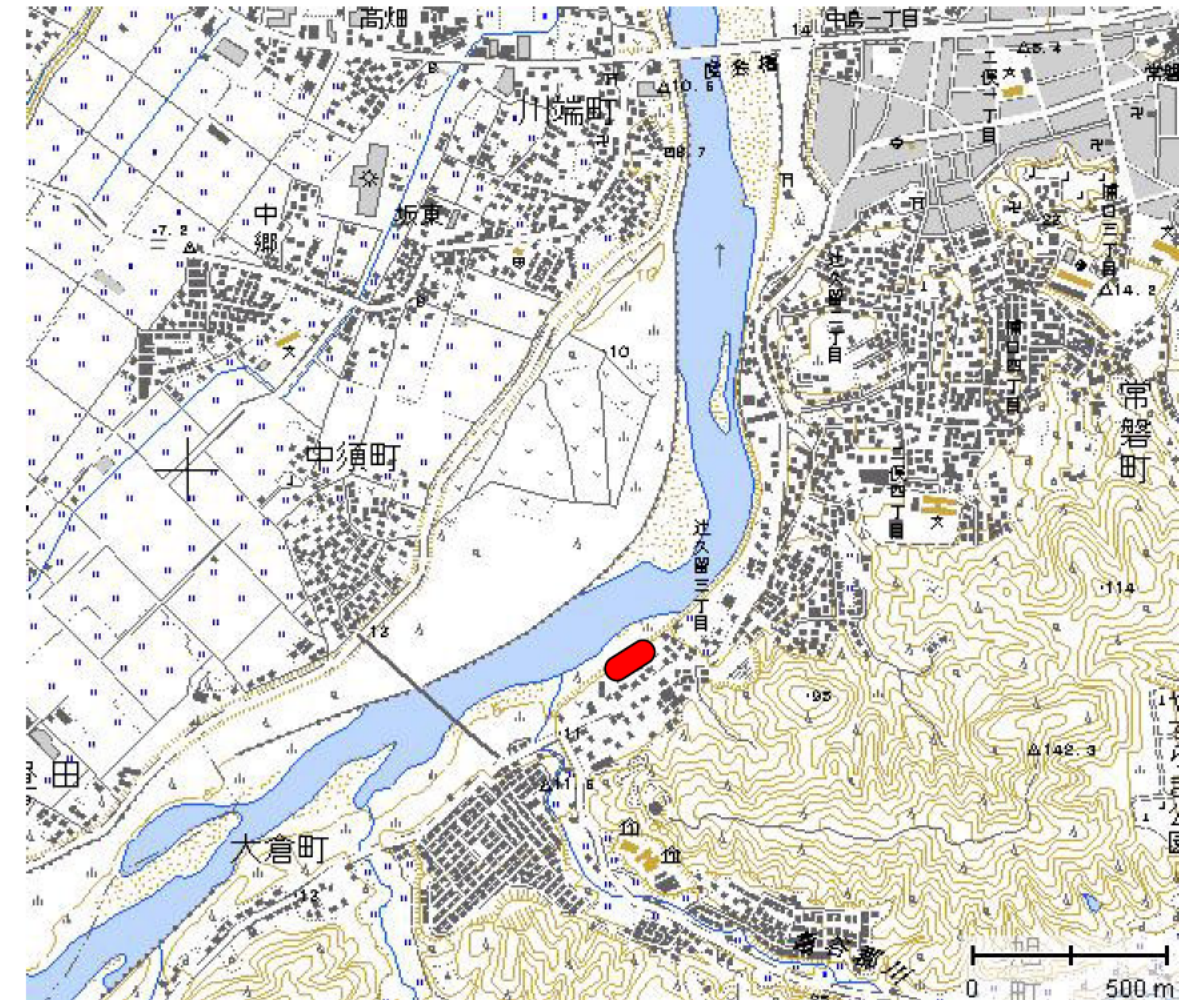
4. おわりに

今回の調査は広大な万所遺跡の一部を調査したにすぎないため、遺跡の全体の様子を把握することはできませんでした。また、調査したところは、遺跡の中心部からはややはずれた場所でした。それでも伊勢市内ではめずらしい平安時代の集落跡の一部を確認できたことなどは大きな成果であり、この地域の歴史を知る貴重な手がかりとなりました。来年度も、一部の調査が残されており、今回のような成果が期待されます。

遺跡名	まんじょ 万所遺跡
原因事業名	一級河川宮川床上浸水対策特別緊急事業
事業主体	国土交通省三重河川国道事務所
調査主体	担当：三重県教育委員会
調査担当	三重県埋蔵文化財センター
調査協力	地元自治会・伊勢市教育委員会・伊勢市
発掘作業	伊勢市シルバー人材センター・宮本建設（株）
調査期間	平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 9 月 18 日
調査面積	1,200 m ²

まんじょ 万所遺跡発掘調査報告会

平成 21 年 11 月 7 日（土）午後 2 時～午後 3 時 30 分



遺跡の位置

1. はじめに

平成 16 年 9 月の台風 21 号がもたらした洪水被害は、伊勢市内の宮川右岸地域において大きな被害をもたらしました。この対策として浸水被害を防ぐための堤防建設が平成 17 年度より実施されてきました。平成 21 年 4 月、事業予定地に残る万所遺跡の一部について、範囲確認の調査をしたところ、古代を中心とする建物跡などの遺構（地面に残された生活の痕跡）と土器などが確認されたため、緊急に調査をすることとなり、三重県埋蔵文化財センターが今年の 7 月から 9 月中旬にかけて発掘調査を行いました。

万所遺跡は宮川下流部右岸にあり、宮川とは 7 m ほどの崖をなして平坦地が広がり、宅地や畑地・水田に利用されています。遺跡の広がり東西約 90m×南北約 320m と広範囲におよび、弥生時代（2000 年ほど前）以降の遺跡として知られていましたが、今回初めて万所遺跡の本格的な発掘調査を行いました。

2. 発掘調査の様子



写真1 表土を取りのぞいています



写真2 遺構(地面に残された生活の痕跡)を探しています



写真3 黒っぽい部分が遺構です



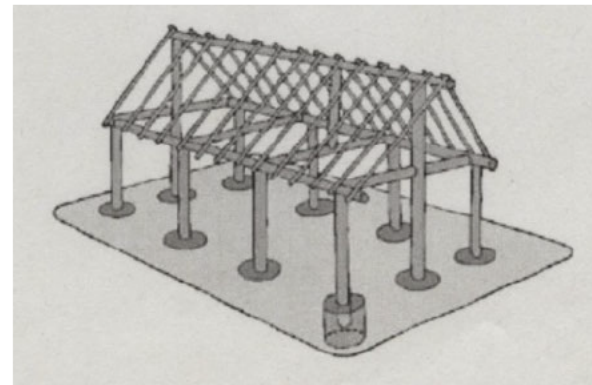
写真4 遺構を掘ります



写真5 土器が柱穴から出てきました



写真6 写真撮影



掘立柱建物 (イメージ)

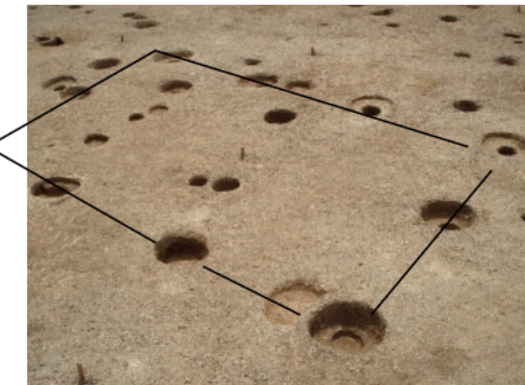


写真11 掘立柱建物2の柱の跡です



写真12 掘立柱建物3の柱の跡です

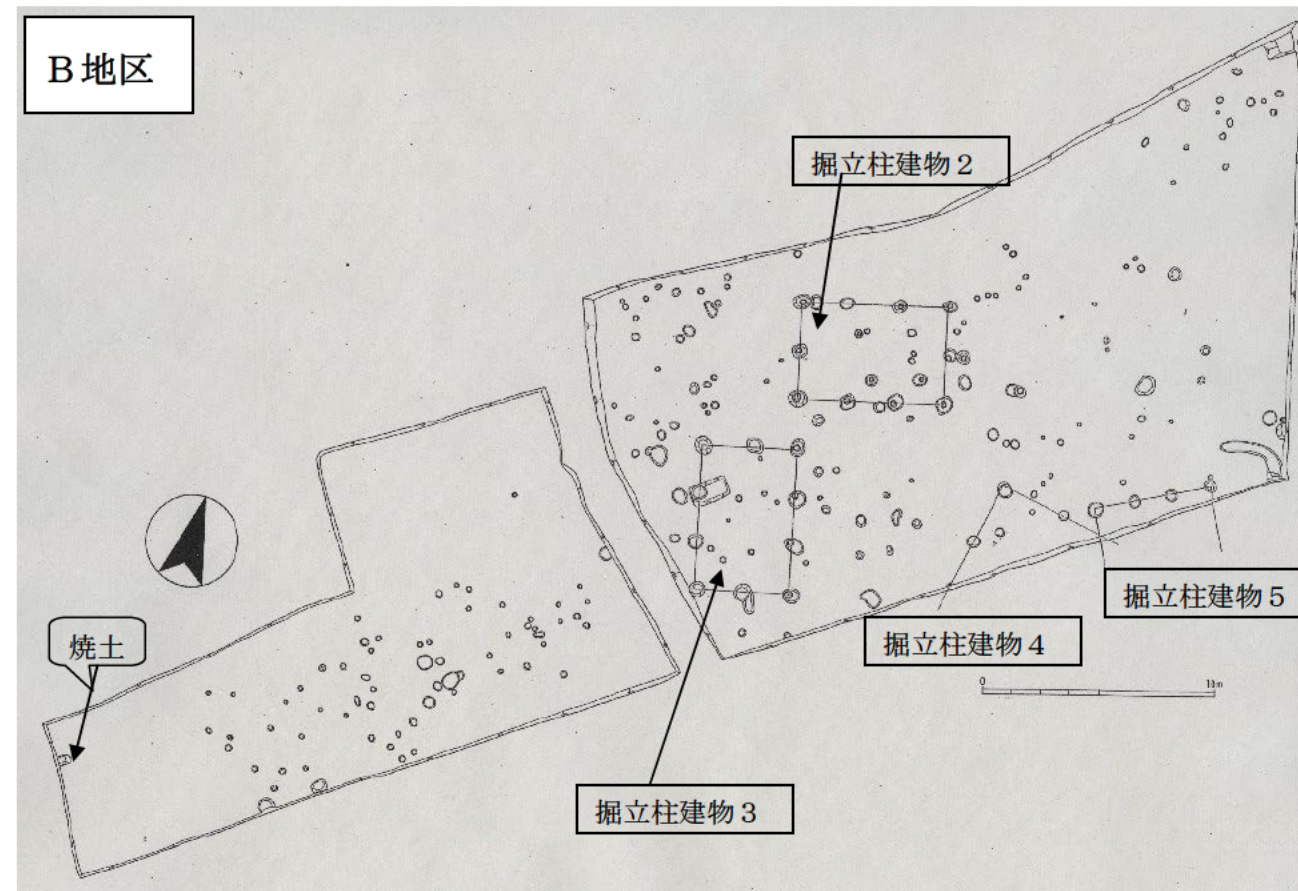
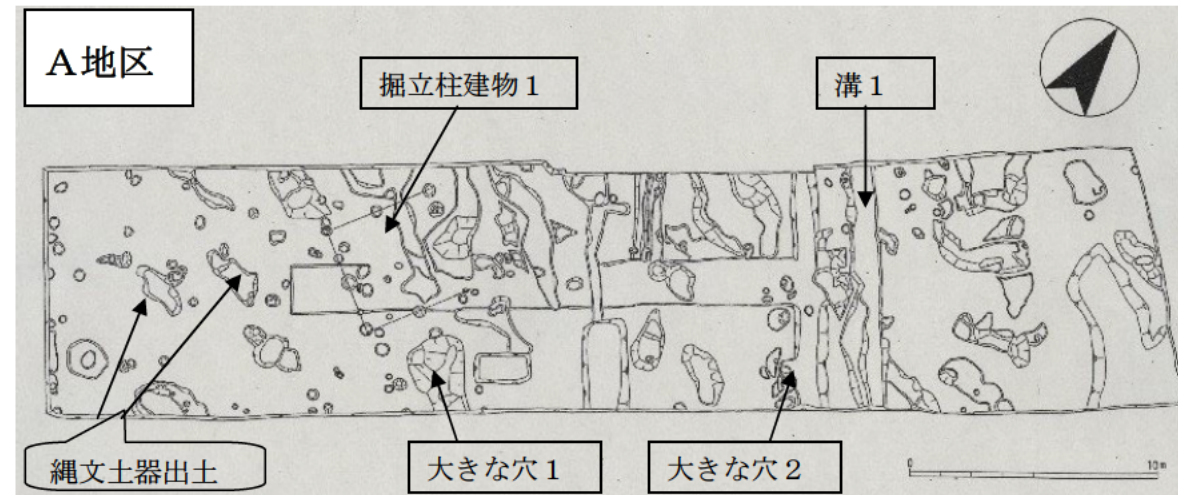


写真7 鎌倉時代の溝です(溝1)

写真8 土器(別図8番の土器)が出てきました



写真9 手前は大きな穴1を掘っています



写真10 大きな穴2から出土した鎌倉時代の山茶碗(別図9番の土器)